

塾山

川内小学校の裏にある山の呼称。昔、その一角に青少年の生活の訓練や精神の陶冶を図ることを目的とした修道塾が建てられ、川内小魂の根源を醸成する教育が行われていた。



【学校に咲いている紫陽花です】

お金のありがたみを知る

校長 中川路 和孝

給与が現金で支給されていた頃、今月も頑張ったなという実感がありました。ですから給与支給日ぐらいはという勢いに任せて、プチ贅沢を楽しんだものです。ご褒美を楽しみに、また一ヶ月頑張ろうというスイッチが入りました。

独身の頃は、家計簿をつけることはしていませんでしたが、いただいた給与を「家賃」「食費」「光熱費」「雑費」等に分け、封筒に入れて管理をしていました。働いて、お金をいただいて、必要経費を支払ってという当たり前の営みです。

当たり前の営みは、今でもそう大きくは変わりませんが、給与は銀行振り込みとなり、しかも嫁さんの管理下に置かれ、月の小遣いは電子マネーという形で携帯に送金されるようになりました。

お金の流れは目に見えないスマートなものになりましたが、現金に触れることでお金のありがたみを学んだ世代の人間としては、少し物足りなさを感じます。

子供たちは、自分で働いてお金を稼ぐことはできませんが、色々な機会を通じてお金のありがたみを学ぶことはできるのではないかと思います。お金のありがたみを知ることは、我慢すること、感謝することなどを学ぶのに通じるのではないかと思います。

私の父は、鍋や釜を売る会社のサラリーマンでした。母もパートタイマーとして働いていましたが、常々「お父さんが一生懸命働いてくれるおかげで、家族が生活できるんだよ」と、口癖のように言っていました。また、父の給料日には母は必ずお米を買ってきました。米びつに買ってきたお米を移しながら、「これで今月も生活できる。米びつがいっぱいになると本当に幸せだ」と言っていたことを覚えています。私たち兄弟は、心の底から両親を尊敬し、感謝しながら生活していました。

40年以上前になりますが、私が小6の時の修学旅行は霧島でした。霧島のホテルに泊まり、霧島神宮に参拝をし、高千穂峰登山をするというのが一般的なコースでした。私の家は兄弟も多く、あまり裕福ではありませんでしたが、両親は修学旅行に向けて色々準備をしてくれました。当時も今と変わらず、修学旅行のお小遣いは5,000円でした。5,000円というお金は、うちの家計にとってとても大きなお金だということ子供心ながらに知っていた私は、修学旅行で1円も使うことなくそのまま5,000円を母に返しました。母は、「我慢なくてよかったんだよ」と言いながら、頭をなでてくれたことを覚えています。

大学も奨学金をもらいながら卒業することができました。お借りした奨学金はおよそ100万円でしたが、返済するまで10年もかかりました。

社会人になり、最初のマイカーは父が乗りつぶしたカローラで、サイドミラーをガムテープで留めているような状態の代物でした。そのカローラに2年ほど乗って、自分が稼いだお金でブルーバードに乗り換えたときは本当に嬉しかったのを覚えています。

我が子には、小さい頃から年齢に応じてお金の大切さを教えてきました。買い物に連れて行ったときには、似たような商品を見せながらどちらがお得か考えさせたりもしました。

バイトをしている大学生の長男は、働いてみてお金のありがたみを実感しているようです。先日、長男が、バイト代が入ったからといって、私の好きな「柿びー」を買ってくれました。初めて息子から買ってもらった物かもしれません。袋には、しっかり「お徳用」の文字がありました。

甌島アイランドウォッチング

6月1日、4年生は甌アイランドウォッチングに行きました。高速船で甌島に渡り、甌大明神橋から鹿の子大橋、そして甌大橋へ行き、橋の大きさと長さに驚きました。また、甌ミュージアムでは恐竜の化石を見ました。初めて恐竜の化石を見る子供たちも多く、その迫力に感激していたようです。昼食後は長目の浜の美しい景色を見ることができました。甌島を訪問することで、自分たちのふるさと薩摩川内市をより理解する機会になったようです。貴重な体験ばかりで、4年生にとってはとても楽しく勉強になった甌アイランドウォッチングでした。



みんなともできる！～市綱引き大会～



6月2日（金）に市綱引き大会が開催され、本校からは6年1組、2組が出場しました。6年生は早い時期から、毎朝の始業前に練習を重ねていました。外部コーチとして、地域の方に専門的な技術や体の姿勢などを詳しく教えていただき、準備を精一杯行う中で、大会を迎えました。



いざ本番、緊張感の中で迎えた予選は両クラスとも自分たちらしさを精一杯発揮しながら戦うことができました。その中で、6年1組は8年ぶりの決勝トーナメント進出となりました。トーナメント一回戦は、予選で敗れた相手でしたが、精一杯食らいつき、1本は勝ちましたが、トータルで敗れてしまいました。しかしながら、全力を出し切った子供たちの表情には悔しさと共に、満足感も漂っていたようです。ベスト8、そして全力を出し切る心地よさを実感していたようでした。今回の綱引きの練習、試合をとおして、クラスの絆が深まったのは間違いありません。子供たちにとって大切な経験となりました。

授業参観 多数の参観ありがとうございます

6月6日・7日の2日間、授業参観週間として各学級の授業の様子を参観していただきました。2日間で延べ290人の来校がありました。地域の方々や幼稚園、保育園の先生方にも来ていただいたようです。子供たちも、お家の方々にご覧いただいている様子を見ていただくことが大変嬉しかったようで、いつもより張り切っている姿も見られました。参観していただいた方々からは「学校での子供たちの様子が確認できてよかった。」「休み時間の様子も見ることができて良かった。」「先生たちが一生懸命に子供たちのために授業をしてくださっている。」などの感想をいただきました。



引き渡し訓練

6月10日（土）には原子力災害を想定した引き渡し訓練を行いました。川内小学校は原子力発電所からの距離が近く、万が一原子力災害が発生したときには、鹿児島市への避難が義務付けられています。今回、お迎えから児童の受け渡し、駐車場からの退出について、事前の確認のとおりスムーズな訓練を実施することができました。また、今回の避難訓練の様子はMBCテレビのニュースに取り上げていただきました。原子力災害については、子供たちだけでなく、保護者の意識も大切になってきます。これからも実行性のある避難訓練を行っていきますので、皆様の御協力、よろしくお願いいたします。



MBCニュースの映像より

～6・7月の主な行事予定～

月	日	曜	行事等	月	日	曜	行事等
6	20	火	PTA総務委員会	7	20	木	1学期終業式
7	6	木	第2回学級PTA				※ 7月教育相談は11月に延期します。
	8	土	土曜授業				※ 夏休みプール開放は行いません。